



令和6年 7月 12日
第504号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

命のつながり～アマガエルの季節～

校長 飯塚 進

6月も終わりに近づいてきた頃、子どもたちはアマガエルを見つけて喜んでいました。とても小さいカエルで、たぶんまだカエルになったばかりだと思われそうです。学校の周りにもたくさんいました。手のひらに乗せている子どももいました。

カエルはというと、私をじっと見て「助けてください。」と言っているような気がしました。たぶん気のせいだと思います。子どもたちはかわいがってはいるのですが、カエルにしてみると人間の子どもは、怪獣に見えるのかもしれないなと思いました。無事に草むらに返してもらえることを祈りました。

毎年、雨の日が増える梅雨の季節が近づくと、アマガエルをよく見かけるようになります。命は何代も何代も続いてきて、これから先もずっとつながっていくであろうことを考えると、不思議な気持ちになります。自分にとっての父母が一代前で2人、祖父母が二代前で4人と数えると、十代前は、千人を超えるのだそうです。二十代前にさかのぼるとなんと百万人を超えるというのですから、驚きです。その百万人の中で、一人でも子どもが生まれる前に亡くなっている方がいたなら、今の自分はいなかったと考えると感慨深いものがあります。

過去からつながってきた命、そして未来へとつなげていく命です。子どもたちには、自分の命はもちろん、友だちや家族、周りの人々、そしてアマガエルのような小さな命も大切にしてほしいと願います。

いよいよ1学期も残り2週間ほどとなりました。子どもたちには、一人一人学習面や生活面を丁寧に振り返り、しっかりまとめをしてほしいと思います。修正すべきことがあれば修正し、悔いのない1学期末を過ごし、楽しい夏休みを迎えてほしいと思います。

